

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東ソー株式会社 東京研究センター リニューアル計画 CS棟	階数	地上4F
建設地	綾瀬市早川字上原2743-1、2743-10、2743-11、2743-12、2743-13、2791、2792-1、2792-5	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年07月 予定	評価の実施日	2024年1月20日
敷地面積	2,303 m ²	作成者	プラス株式会社 一級建築士事務所
建築面積	1,571 m ²	確認日	2024年02月05日
延床面積	5,244 m ²	確認者	東ソー(株) 東京研究センター



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境 (スコア: 2.6)

音環境: 3.2, 温熱環境: 2.0, 光・視環境: 2.9, 空気質環境: 2.8

Q2 サービス性能 (スコア: 2.8)

機能性: 2.3, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.4

Q3 室外環境(敷地内) (スコア: 2.4)

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー (スコア: 3.3)

建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 2.9, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.3)

水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.4, 汚染物質: 3.3

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.3)

地球温暖化: 3.5, 地域環境: 3.2, 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
かしわ台駅からバスで約14分の工業地域に事務所を計画した。	特になし。
Q1 室内環境 全般照明の場合で、照度が500lx以上1000lx未満。	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.7m以上 給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。
Q3 室外環境(敷地内) 特になし。	
LR1 エネルギー BPIm=0.76。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加えて、節水型便器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率87% 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される